

建設情報 *Iwate*

大船渡広田陸前高田線平林地区 整備方針の検討を公告

県大船渡審査指導 申請期限は18日正午

県沿岸広域振興局大船渡審査指導監は9日付で、「主要地方道大船渡広田陸前高田線平林地区道路整備方針検討業務委託」を公告した。申請期限は18日正午。入札日時は30日の午前9時から午後5時まで。開札は、翌31日を予定している。（関連7面）

業務は、大船渡市末崎町字平林地内の400㎡区間で道路予備設計を実施するもの。

対象区間は、復興事業として整備した主要地方道大船渡広田陸前高田線船河原工区（延長2.2km）の隣接区間で、碁石海岸への主要アクセス道路の一部を形成している。

業務内容では、道路予備設計（A）として設計計画や現地踏査、路線選定、設計図・協議資料の作成、概算工事費の算出などを実施する。

業務計画書の作成や、現地の状況の把握を進めるほか、路線選定では、2022年度に実施した道路現況調査業務での整備計画の方針に準じた整備計



主要地方道大船渡広田陸前高田線の平林地区

ニュースのお知らせ

〒020-0015 盛岡市本町通3-9-33
本社編集部へ
TEL (019) 623-8201
FAX (019) 623-8204

画案を検討し、最適な路線を選定することとしている。

履行期限は150日間。入札参加資格には、土木関係建設コンサルタント業務に登録され、道路を申請業務としている者で、沿岸広域振興局の区域に本店または営業所（岩手県内に本店を有する者の営業所に限る）を有すること、などを付している。

丘向橋橋梁補修工事など公告

＝9日付で県大船渡審査指導監 工事4件、業務3件＝

盛岡地区交通安全施設整備を公告

＝岩手河川国道事務所＝

公告・予告

県大船渡審査指導監

県沿岸広域振興局大船渡審査指導監は9日付で、総合評価落札方式で実施する国・343号丘向橋橋梁補修工事など2件を公告した。入札参加希望者は入札参加申請書を電子入札システムにより18日正

午までに提出すること。入札は25日、8月1日を予定している。

▽国・107号柏里4号橋橋梁補修工事（簡易2型、週休2日：発注者指定型、CCUS活用モデル工事）
施行地 住田町世田米字柏里地内
工期 178日間
工事内容 橋長37.00m、橋梁補修工（ひび割れ補修工、断面修復工、表面保護工）一式、伸縮

継手工16.2m、鋼橋支承工（支承金属溶射）6基、アスファルト舗装工8㎡、区画線工3㎡
予定価格 4317万2000円
入札参加資格 土木工事B級資格者で、県南広域振興局（本局）、沿岸広域振興局（本局、大船渡地区）の区域に建設業法に基づく主たる営業所を有すること
入札予定日時 2024年7月25日17時まで
開札予定日時 2024年7月26日13時30分
▽国・343号丘向橋橋梁補修工事（簡易2型、週休2日：発注者指定型、CCUS活用モデル工事）
施行地 陸前高田市矢作町字下小（7面へつづく）

堰堤の整備に向け地盤変動影響調査

＝県一関土木センター・日照田の沢＝

県南広域振興局土木部一関土木センターは、平泉町の日照田の沢での堰堤整備に向けて、地盤影響調査などを進める。地盤変動影響調査等（事前調査）が同局一関審査指導監から公告中となっている。

日照田の沢での事業は、21～25年度までの期間で、砂防堰堤1基の整備を計画する。整備する堰堤は、堤高7.5m、堤頂長35.0m、堤体積44立方m、貯砂量1700立方mの規模、不透過型改良土（INSEM工法）の構造の堰堤を予定している。

流域には、土石流危険渓流1カ所が認められる。渓流下流には、人家6戸や要配慮者利用施設1戸、主要地方道平泉蔵美溪線といった保全対象が位置する。

流域内は、大規模な地すべり地形は見られないが、崩壊地形跡や渓床・溪岸の侵食が著しく、降雨に伴い侵食による土砂災害が懸念される。土砂が発生した際は、甚大な被害の恐れがある。これまでに土砂の流出などは確認されていないものの、保全対象の状況なども鑑みて、事業を進める。

堰堤整備に向け今回、木造建物A調査（事前）70平方m未満5棟を実施。委託期間は90日間となっている。

なお、日照田の沢での事業については今年度、主要地方道平泉蔵美溪線から堰堤の整備位置に通じる工用道路の整備に入ることを見込む。工用道路の工事については、すでに開札済み。工用道路の工事案件は、管理用道路工280㎡、道路土工一式、函渠工一式、路盤補強工409平方m、仮設工一式が数量で、整備を予定する区間に水路が位置することから、プレキャストボックスが設けられる。

歩道改修が完了に 栗原建設の施工で

＝奥州市・桜木橋大通線＝

奥州市は、江刺の市道桜木橋大通線の歩道改修について、今年度で事業完了を予定している。最終となる今年度分の工事については、栗原建設の担当に決まった。

桜木橋大通線は、旧県道水沢米里線で、国道456号の大通り公園との交差点から、水沢米里線の桜木橋のたもとまでを走る路線。旧県道だが、路線バスが通行する区間などとなり、重要路線に位置付けられる。

現道には、水路の上に歩道が設置されているものの、歩道が設置されていない区間がある状況、高低差も見受けられ、地

元要望も出ていることから、歩道部分の改良や改修を進めてきている。

歩道改修は、道路敷地を生かして高低差をなくしフラットの線形にして、歩車道境界ブロックを設置する形で実施するものとなる。歩道は南側に位置する。

これまでの経過を見ると、国道456号との交差点から市道南八日市新地野線との交差点までの380mでは、幅員1.2～2.0m弱の歩道で改修。18年度に完了した岩谷堂工区は、南八日市新地野線以降から東北新幹線と交差する箇所より少し西側までの区間、600mについて1.5m程度の幅員の歩道を改修した。

21年度から愛宕工区の施工に入り、岩谷堂工区の続きとなる愛村公園から、J A江刺愛宕管農センター辺りまでの約1.2km区間について、1.5m程度の幅員の歩道に改修を進めている。

最終年度の歩道改修は、延長398m。工期は205日間となっている。



桜木橋大通線での歩道改修

いわて防災学教室

災害から学び、災害に備える



活断層上の土地利用と規制

岩手大学理工学部システム創成工学科准教授

岡田 真介

近年多発する内陸の活断層による地震では、地表面に活断層によるずれが出現し、地震動による被害だけでなく、地盤のずれによる被害も多く発生している。2014年の長野県北部の地震、2016年の熊本地震だけでなく、古くは1896年の陸羽地震も、活断層が引き起こした地震であり、活断層による地盤のずれが地表に連続的に出現した。2014年の長野県北部の地震では、最大で約1m程度におよび地表が上下に食い違った。熊本地震では、活断層に沿って約2mの右ずれが発生した。陸羽地震では、奥羽山脈西側の横手盆地東縁に位置する千屋断層において上下に約3.5m、同山脈東側の西和賀に位置する川舟断層において上下に2m程度のずれが発生した。

実際に地震が発生しなくとも、活断層の地表位置は、地形に残された崖や撓みなどによって、特定することができる（侵食や堆積作用によって、判断根拠となる崖や撓みなどの地形が消されていって分からない場合もある）。地形に残されている崖や撓みでは、次に地震が発生した時にも、ほぼ間違いなくそれらに沿ってずれが発生すると予想される。長野県北部の地震、熊本地震、陸羽地震でも、既存の崖地形（活断層の地表位置）に沿って地盤のずれが発生している。活断層の地表位置は、活断層の専門家や、空中写真を立体視したり、近年ではDEMと呼ばれるデジタル地形データから立体視画像を作成し、詳細な分布を判読している。国土地理院の活断層図では、上記の手法によって判読された活断層位置が、2万5000分の1の地形図に図示され、公表されている。国土地理院のホームページから地理院地図を使って、全国の活断層図を閲覧することもできる。

活断層の地震によって生じる地表のずれは、建物のみならず、道路・鉄道・上下水道・ガス・電気などのインフラに大きなダメージを与え、これらのネットワークは寸断される可能性が高い。活断層による地盤のずれが発生するであろう位置は、地形に残されている崖や撓みから、ほぼ特定できるため、対策がなされるべきである。しかし、1つの活断層に

よる地震の発生間隔は、人間の社会生活のタイムスケールと比較して非常に長い。国内では、ほとんどの場合で対策が行われていないのが現状である（原子力発電所の立地に関しては審査が行われており、ごく一部の高速道路、鉄道、集合住宅の建設では、考慮されている場合もある）。

一方で、米国カリフォルニア州では、活断層法（アルキスト・プリオロ特別調査地帯法）がある。この活断層法は、50年以上前の1973年に施行されており、ごく簡単には以下のような概要である。まず、州の地質官が、活断層に沿って特別調査地帯（主要な活断層から150mの範囲）を設定し、2万4000分の1の公式地図として市および郡に配布する。次に、特別調査地帯内で、開発計画がある場合は、地質調査が行われ、実際に活断層の有無（地震時に地表にずれ生じる可能性の有無）が判断される。地質調査によって、活断層が確認された場合は、活断層の両側15mの範囲では、建物がセットバックされ、緑地やプール、道路などとして利用される。米国カリフォルニア州以外でも、ニュージーランド、ウエリントン市や台湾でも同様な法令が設定されているようである。日本国内では、徳島県、横須賀市、西宮市などでは、条例等として制定されているが、ほんのごく一部にすぎない。

日本では、都市部を通る活断層がいくつもあり、このような条例等を同時かつ一律に制定することは難しいであろうが、原子力発電所だけではなく、少なくとも学校、公共施設、大規模な施設・建物、高速道路、鉄道などに関しては、活断層との位置関係は、科学的な根拠に基づいて十分に検討を行うべきであり、予測できる被害は軽減するべく、対策が施されなくてはならない。

※いわて防災学教室のバックナンバーは、岩手大学地域防災研究センターのホームページ「公開情報」で閲覧できます。

2024年版 岩手建設年鑑

予約受付中!!

23・24年度 格付を搭載 (検索可能なCD-ROM付)

予約 特価 19,800円 (税込)

定価 22,000円 (税込)

一冊にすべて入っています

業者名簿編

コンサルタント編

団体名簿編

資料編

CD-ROM

検索（地域別・業種別・格付別）
主な業界団体構成員が検索できます
二次加工（プリントアウト）できます

お申し込みは (株)日刊岩手建設工業新聞社

☎(019)623-8201

www.nikkaniwate.co.jpから

建築・防水のことならおまかせください

エコアクション21認証企業

誠実一堅牢

株式会社 熊谷工務店

代表取締役 熊谷 則子

〒020-0013 盛岡市愛宕町9番10号
TEL 019-623-5465 FAX 019-622-6340
URL <http://www.kumagaik.jp/>

橋梁点検車

橋梁の点検・調査から補修・補強工事まで

株式会社 オリテック21

代表取締役 櫻岡 賢拓

〒020-0891
紫波郡矢巾町流通センター南1-7-20
TEL 019-658-8876
FAX 019-658-8875
<http://ort21.com>

ロジスティクス・フォークリフトはお任せください



ロジスティクス ■自動倉庫、AGV、ロボット
& ■パートナーラック（固定タイプ、移動タイプ）
フォークリフト ■GENEOシリーズ（エンジン式、バッテリー式）
ジョブサン、ジョブファイター、ローリフト

TOYOTA L&F トヨタL&F岩手株式会社

本社 〒020-0891 紫波郡矢巾町流通センター南三丁目10-10
電話 (019)638-4611(番代) FAX (019)637-3233(番)

盛岡支店 紫波郡矢巾町流通センター南2丁目6-12 (019)632-3121 一関営業所 西磐井郡平泉町字高田92-10 (0191)46-4221
奥南支店 胆沢郡金ヶ崎町西根南羽沢71-2 (0197)44-3521 宮古営業所 宮古市津軽石第13地割400番2 (0193)67-3596
三陸営業所 大船渡市三陸町吉浜字根白205-1 (0192)43-7600 東北営業所 九戸郡軽米町大字上第15地割岩崎9番7 (0195)48-1330
リ・フオーセター盛岡 紫波郡矢巾町流通センター南3丁目10-10 (019)632-3124